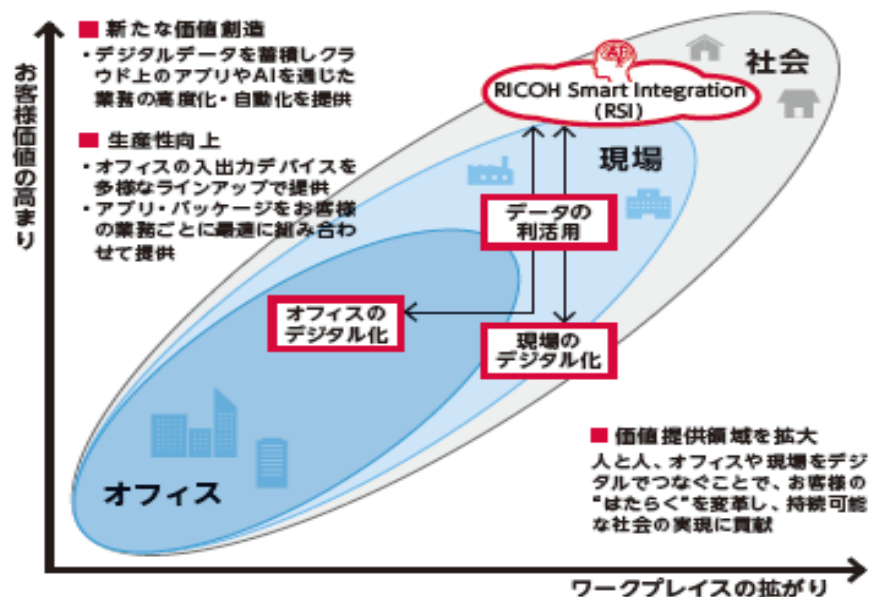


- 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、働く人の周辺環境が劇的に変化し、リコーグループの主力製品である複合機をはじめとする事務機器の需要は大きく減少した。DX（デジタルトランスフォーメーション）需要の拡大に対応するため、現在のオフィスサービス事業の成長を促進し、「はたらく場をつなぎ、はたらく人の創造力を支えるデジタルサービスの会社」となることを目指す。
- リコーのデジタルサービスは、ワークプレイス（オフィス／現場＋ホーム）のITインフラを構築し、ワークフローをデジタル化してつなぎ、新しい働き方を実現する。その実現に向けた取り組みとして、デジタルプロセスオートメーション領域へ拡大するソフトウェア企業や、お客様の業種や多岐に渡るニーズに対応した自動化、省力化ソリューションのノウハウを持っている企業などへの積極的な投資等を行う。また、デジタルサービスの会社への変革に向け、企業風土、人材、インフラ、R&Dなどの経営基盤に対しても積極的な投資を行っていく。

<取組の内容のイメージ>

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES

人とデジタルの力で、
はたらく人やはたらく場をつなぎ、
お客様の“はたらく”を変革



1. 事業適応計画の実施期間

2022年4月28～2026年3月31日

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画終了年度において、ROAが基準年度(2021年3月期)より5%ポイント以上上回ることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

計画終了年度において、デジタルサービス事業における新規売上高がグループ全体の売上高の1%以上となることを目指す。

4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金控除上限の特例）